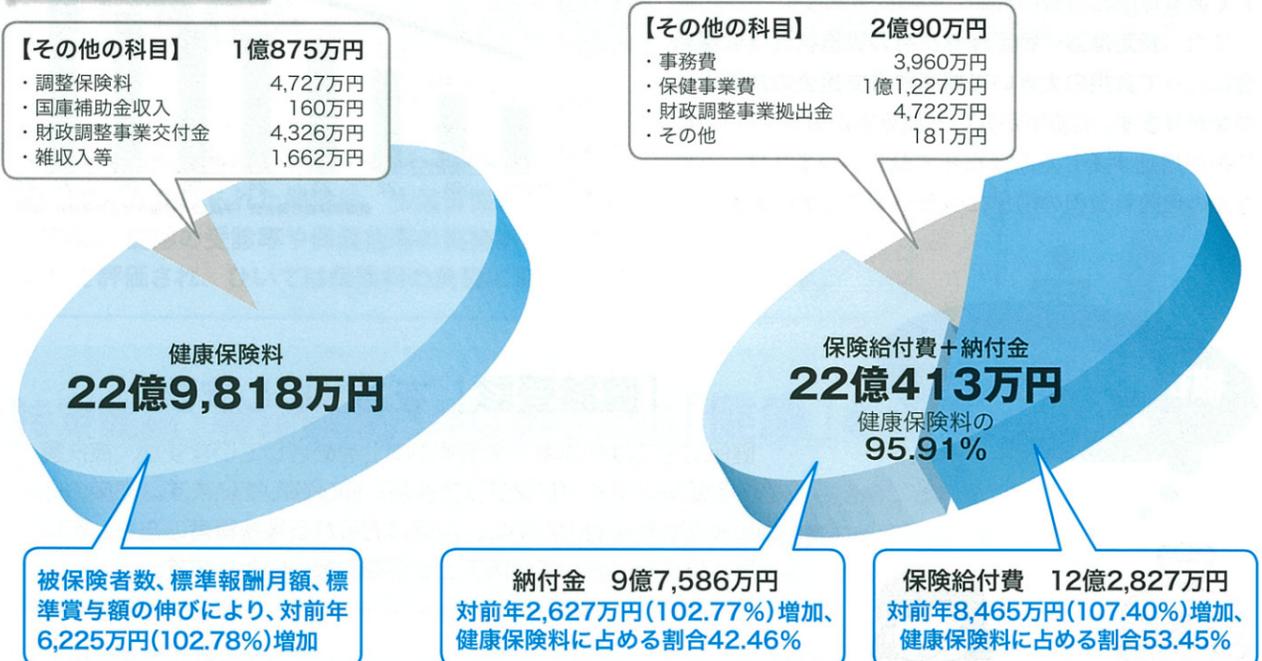


健康保険料増収するも保険給付費が大幅に増加で、かろうじて黒字決算に

健康保険勘定



収入：24億693万円

支出：24億502万円

収支差引：191万円

平成28年度の保険料率は据え置きで別途積立金は順調に積み増し

平成24年度で枯渇した別途積立金を積み増しするために保険料率を引き上げ、順調に積み増した別途積立金は10億円を超え、平成27年度では黒字基調の中、保険料率の引き下げを実施しました。今後は、納付金の動向を見据えながら、保険料率の再改定も視野に入れた財政運営を行っていきます。

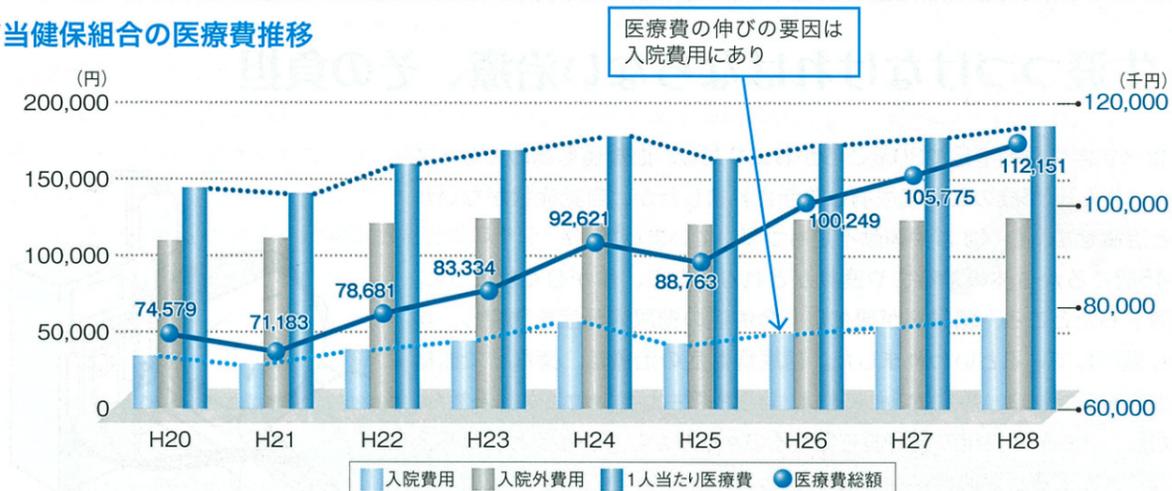
健康保険勘定の財産推移



健診受診で病気の重症化を予防し医療費抑制にご協力を

医療費が年々増加しています。被保険者数が増加している影響が大きいです。被保険者1人当たりの医療費推移を見ると、医療費総額(折れ線グラフ)の山と1人当たり(棒グラフ)の伸びの傾向が同じです。1人当たりの内訳を確認すると、入院外(通院+薬剤)の医療費はほぼ横ばいですが、入院の増減が1人当たりの増減と同様の傾向にあります。このことから高額な入院を予防することが、医療費総額の増加を抑える最大の効果になると思われます。早期発見・早期治療には、健診受診とそのフォローが役立ちます。健保組合の健診メニューを利用してください。

当健保組合の医療費推移



健保組合実施の健診メニューをご活用ください!!

被保険者(本人)対象

- 人間ドック(40歳以上)
自己負担：15,000円
- ※一般健診や40歳以上の特定健診は、事業主が定期健診として実施

被扶養者(家族)対象

- 特定健診(40歳以上)
自己負担：無料
- 一般健診(年齢制限なし)
自己負担：無料
- 人間ドック(40歳以上)
自己負担：15,000円



1年に1回、自分の体に向き合う習慣を

介護保険勘定

介護保険料率は前年と同じく1.3%です。介護納付金が増加する影響で、決算残金からの介護準備金への積み増しが必要となります。また、次年度への繰越金が増加します。

収入	2億9,794万円	決算残金処分		介護準備金	
支出	2億7,471万円	介護準備金積み増し	190万円	平成27年度	2,045万円
収支差引	2,323万円	次年度繰越金	2,133万円	平成28年度	2,235万円